

令和元年度(2019年度)「事業方針」

所属名

南消防署

1 所属目標

南区民が「安全・安心を実感できるまち」の実現に向け、地域特性に応じた、地震火災対策を推進するとともに、地域、事業所、防災関係団体等と連携して地域の防火・防災力を向上させ、各種災害に迅速かつ的確に対応します。また、市民から信頼される職員を育成し、職員一人ひとりが消防職員としての責任と情熱、そして誇りを持って、市民の皆様には水準の高い消防サービスを提供していきます。

2 主な事業・取組

① 地域防災力の向上

<取組内容>

- ◆改訂版「木造密集地域震災対策戦略マニュアル」に基づき、署・団連携した現場検討及び延焼阻止訓練を実施します。
- ◆初期消火器具の更なる設置普及を図るとともに、効果的な訓練を実施し、初期消火能力の向上を図ります。
- ◆区役所や関係機関と連携、ケアマネージャー等高齢者と接する方への研修を通じ、高齢者出火防止対策を推進します。
- ◆多国籍の方への対応として、関係機関と連携し、ホームページの活用等多言語に対応した防火防災広報を推進します。
- ◆年間を通して、震災対策用資機材等を活用した署・団連携訓練を実施し、震災対応能力の向上を図ります。

② 消防・救急体制の強化

<取組内容>

- ◆大規模イベントに備え、危惧されるテロ災害や集団救急等の対応訓練などを実施し、都市災害対策の強化を図ります。
- ◆災害対応能力を向上させる各種訓練を通じて、警防体制の強化を図ります。
- ◆救急救命士の育成、救急隊等の労務負担の軽減、救急統計の分析・検討等を通じ、救急体制の充実を図ります。
- ◆区役所や関係機関等と連携し、熱中症防止キャンペーン等ターゲットを絞った戦略的な救急需要対策を推進します。
- ◆台風や集中豪雨等の自然災害に備え、区・消防団等関係機関と地区本部運営訓練を実施し、連携の強化を図ります。

③ 消防団活動体制の充実・強化

<取組内容>

- ◆地域、商店街、事業所等対象に応じた入団促進活動を展開し、団員充足率100%を持続します。
- ◆幅広い知識・技術を有する訓練指導者を育成し、消防団指導体制の強化と団員の基礎的諸能力の底上げを図ります。
- ◆大規模地震発生時の活動能力向上を図るため、災害種別に応じたブラインド型訓練を実施します。
- ◆器具置場の環境整備を行い、団員の活動環境充実を図るとともに、コンプライアンス研修を通じ意識醸成を図ります。
- ◆来年度の南消防団発足10周年事業を控え、その主体である団本部、OB会、広報委員会との連携を署が支援します。

④ 防火・防災対策の推進

<取組内容>

- ◆出火や放火防止の意識を高めるため、署内プロジェクトを立上げ、地域における安全なまちづくりを推進します。
- ◆小中学生や保護者を対象にライフステージに応じた研修を行い、地域における防災の担い手を育成します。
- ◆参加しやすい家庭防災員研修を実践し、自助から始まり地域防災の担い手となる家庭防災員の育成を目指します。
- ◆地域・事業所に対し、特性や業種に応じた訓練指導等を行い、あらゆる災害への対応力の強化を図ります。
- ◆大規模イベントに備え、予防査察や各種審査の適正執行、違反対象の是正指導及び民泊等宿泊施設の指導を行います。

⑤ 人材育成の推進と明るく活力のある職場づくり

<取組内容>

- ◆5S3定運動は、署所での奏功事例の共有等を通じ、交通事故や事務ミス等のない活力のある職場づくりに努めます。
- ◆不祥事撲滅宣言を踏まえ、不祥事防止研修や人権啓発研修を通じ、互いに相手を思いやれる人材を育成します。
- ◆職員が取組む姿を広くPRするため、AINET投稿や取組事例の発表機会等を通じ、個々の情報発信力を高めます。
- ◆環境に優しい職場を醸成するため、職員一人ひとりの3Rへの意識啓発とペーパーレス化に積極的に取り組みます。
- ◆職員の健康管理やワークライフバランスを推進するため、業務の効率化に取り組み、長時間労働の防止を徹底します。